

# 上級ミクロ経済学 前半部 講義概要

京都大学経済研究所 原 千秋

2009年4月8日

## 目的

本講義ではミクロ経済学の標準的内容を概説する。前半部では以下の事項を網羅する予定。

1. 意思決定理論の基礎：意思決定理論の抽象的枠組・選好関係・選択ルール
2. 消費者理論：予算集合・効用最大化問題・支出最小化問題・双対性・顕示選好理論
3. 生産者理論：利潤最大化問題・双対性
4. 不確実性下の意思決定：期待効用理論・危険回避度・資産選択問題
5. 部分均衡理論：需要・供給関数の図示と厚生の評価

## 講義ノート・教科書・参考書

A. Mas-Colell, M. Whinston, and J. R. Green, *Microeconomic Theory* (Oxford University Press) を教科書として用いる。同様の内容を含む参考書として、D. Kreps, *A Course in Microeconomic Theory* (Princeton University Press), H. Varian, *Microeconomic Analysis*, 3rd edition (Norton), G. A. Jehle and P. Reny, *Advanced Microeconomic Theory*, 2nd international edition (Addison Wesley) を挙げておく。ミクロ経済学全般を学び取る限り、自らの好みや予備知識に応じて、これら網羅的な本の中から自ら購入すべき一冊を選んでもらって構わない。邦書では、奥野正寛・鈴木興太郎『ミクロ経済学1・2』(岩波書店)および林貴志『ミクロ経済学』(ミネルヴァ書房)がこのコースの内容に即している。

また、講義ノートがホームページ (<http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/~hara/>) にアップロードされる予定である。ただし、常時加筆・訂正が行われるので、講義で配布することはない。各自必要に応じてダウンロードとプリントアウトをすること。その際、アップロードされた日に注意すること。また、誤植等があり、その結果試験の点数が下がることがあっても責任を負うつもりはないので、その点留意されたい..

## 宿題とティーチングアシスタント

4月15日水曜日から毎週水曜日の授業中に宿題を配布する。翌月曜日の授業終了時に答案を提出すること。この答案に基づいて、大学院博士課程在籍中の川崎雄二郎さんが金曜日3限（午後1時から2時半まで）に、経済研究所北館1階N-101・102講義室にて演習を開く。川崎さんのオフィスアワーは、演習終了後1時間（午後3時半まで）総合研究2号館（旧、工学部4号館）の4階472号室で開かれる。

宿題の解答を作成するにあたり、受講生同士で相談しても構わない。ただしもちろん他人の答案の丸写しは厳禁。

## 採点基準

評点は前半部の内容が出題範囲の中間試験、および（おそらくは後半部の内容が出題範囲の）期末試験の結果による。宿題の提出回数の多少や出来不出来は評点決定にあたり参考とされる可能性がある。評点Aに相当する成績を取る者は、受講生全体の3割以下であろう。

中間試験は5月末か6月上旬の授業時間中に行われる予定。

## オフィスアワー

中間試験直前までオフィスアワーは特に定めない。それまで、特に宿題に関する質問がある場合は、TAの川崎さんのオフィスアワーに出向くこと。中間試験直前のオフィスアワーの日時は追って通知する。それ以外の日時に私との面談を希望する者はメール（hara@kier.kyoto-u.ac.jp）で事前にアポイントメントをとること。電話は使用しないこと。